

活動状況報告（12月）

学生留学コース 4期生 大久保 辰哉

今月はメルボルン、そしてビクトリア州の中でも最大の総合スポーツ施設である「メルボルンスポーツセンター」を訪れ、施設内を見学、スタッフの方へのヒアリング調査を行いました。当施設は高性能スポーツの本拠地として国際的に知られており、以下の4つの大きな施設で構成されています。

- ・MSAC スタジアム（最先端のスポーツコートとスタジアム。バスケットボール、スカッシュ、バドミントン、バレーボール、卓球のコートがある。プライベート、レンタルまたは競技用に利用でき、最大1800人の観客を収容）

- ・MSAC アクアティクス（トレーニング、球技、回復のための世界クラスの水中共施設であり、水上施設には2つの50m競技用プール、25m屋内ラッププール、多目的プール、ハイドロセラピープール、スパ、サウナ、スチームルーム）

- ・レイクサイド（陸上競技のウォームアップエリアとFIFAサイズのサッカーピッチを備えた国際標準のランニングトラック）

- ・パークビル（ネットボール、ホッケー、バスケットボール、テコンドー、体操などのハイパフォーマンススポーツやコミュニティスポーツを開催するプレミアムコートとフィールド）

当施設は地域住民の一般利用やスポーツクラブの利用、そしてプロ選手の大会会場として使用されるなど、個人のフィットネスや健康、ハイパフォーマンスな競技での優れたキャリア形成など、誰もがスポーツを楽しめる施設で、私が訪れた際には水泳のプロ選手が練習を行っていたり、小学生のクラブチームのバスケットボールの試合が行われていたり、バドミントンの一般利用がされていたりと、多種多様なスポーツを一般人からプロ選手までが利用していました。

施設の立地もトラム（メルボルン特有の路面電車）や電車でのアクセスも非常によく、周りには住宅街やホテルやレストランなどのホスピタリティ施設も数多くあり、当スタジアムを中心に町が賑わっているとも感じました。街から比較的近い位置にあるこのような巨大スポーツ施設を気軽に利用できたり、プロスポーツ選手たちが使用することで、地域住民がスポーツをより身近に感じられ、スポーツを楽しむ人口が多いのではないかと感じました。

また当施設は大きな湖の外側を囲むように設置されており、湖ではボートに乗ることができたり、湖の周りには遊具付きの公園が数多くあったり、BBQセットが設置したりとスポーツだけではなく、子供たちが自由に遊べるエリアが充実していました。それに加えて施設内の湖の前には結婚式も開催可能なお洒落なレストランや、気軽に立ち寄ってコーヒーが飲めるカフェ、スポーツ終わりには仲間たちとお酒が飲めるバーなどもあり、子供も大人も一日中楽しめるような場所が施設内に沢山見ることができました。

まさに自分が想定する未来で描いたようなスポーツ施設であり、よりイメージを膨らませることができました。

